

新潟県損害保険防犯対策協議会総会を開催

～交通事故を偽装した保険金詐欺事件検挙で感謝状を贈呈～

新潟県損害保険防犯対策協議会（会長：中村 知子・東京海上日動火災保険株式会社 新潟支店長）では、12月6日（金）、第43回総会を開催し、来賓・顧問・会員など34名が出席しました。

冒頭、中村会長から「巧妙に仕組まれた偽装事故など、保険制度を悪用しようとする行為は依然として存在している。不正請求を行う者に対しては、毅然とした姿勢で対処していくことが、損害保険会社に負託された社会的使命と考えている。」との挨拶がありました。続いて、新潟県警察本部刑事部組織犯罪対策課の麩澤 正敏 課長から「近年、組織がわかりにくい匿名流動型犯罪グループによる犯罪が頻発しており、その裏には暴力団との繋がりがあがるケースも認められる。いつ誰が被害者になってもおかしくない状況になっている。犯罪に負けない組織作り、犯罪抑止に一層連携、協力いただきたい。」との挨拶がありました。

本年2月に、故意に交通事故を作出し、負傷したと虚偽の申告をして保険金を騙し取った保険金詐欺グループを検挙した事案に関し、中村会長から新潟県警察本部 交通部交通指導課（諸橋 堅一 課長）と五泉警察署（遠山 春則 署長）に対して、事件解決への感謝の意を表し、感謝状が贈呈されました。

総会の最後には、出席者全員で、暴力や不当・不正請求、反社会的勢力の排除等の決議文を読み上げ、その意思を確固たるものにしました。損害保険業界では、1979年から民事介入暴力団対策および不正請求対策として、関連諸機関と連携を図り、健全な損害保険事業の運営を行うため、全国にこのような協議会を設けています。当協議会は1981年に設置され、当支部が事務局として運営しています。当会では、今後も警察・関係機関と連携しながら、不当・不正請求の排除に向けて取り組んでまいります。



中村会長



麩澤組織犯罪対策課長



感謝状贈呈



決意表明